

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組1	市民総参加で子育て環境の充実
取組の目的	家庭、地域、企業、行政が連携・協力し、市民総参加で子供・子育てを応援します。
現状と課題	◎共働き世帯の増加や女性の社会進出により、保育需要が高まっており、認可保育所を新設するなど定員を増加しているものの、待機児童ゼロの達成には至っていない。一方、幼稚園ニーズは、減少傾向が続いている。 ◎子ども・子育て関連3法による児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの受入対象年齢が小学6年生まで拡大されたことから、専用施設(クラブ室)の整備を進めており、安定的な運営を進めるためには、指導員の確保が必要となる。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	保育所待機児童数(各年とも次年4月1日現在)(人)	目標値	-	0	0	0	0	0.0%
		実績値	25	27	28			
2	放課後児童クラブの定員(人)	目標値	-	915	995	1,065	1,145	100.0%
		実績値	805	835	1,101		1,247	
3	地域住民による子育て広場の実施箇所数(箇所)	目標値	-	2	2	3	4	100.0%
		実績値	1	2	2			
4	母親クラブ等子育て支援団体の数(団体)	目標値	-	8	8	9	10	62.5%
		実績値	6	6	5			
5	保育コンシェルジュの人数	目標値	-	2	2	3	3	100.0%
		実績値	1	2	2	2	2	
6	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数(事業所)	目標値	-	38	55	60	70	89.1%
		実績値	39	49	49			
								70.8%
								75.3%

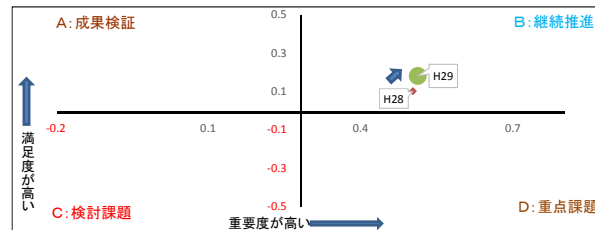
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	保育所待機児童数(平成30年4月1日現在)(人)	28	6	46	0	0	-
2	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数(事業所)	49	40	150	49	14	-
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組1 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.52	0.53			
満足度	0.11	0.19			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)子どもを産み育てる環境の整備推進

中央子育て支援センター運営事業	すこやか子ども課	32,935	39,861	維持
ファミリーサポートセンター運営事業	すこやか子ども課	9,870	5,128	維持
中央子育て支援センター一時預かり事業	すこやか子ども課	4,568	4,568	維持
親子交流広場運営事業	すこやか子ども課	4,062	4,308	維持

基本方針(2)子どもにとって良質な教育・保育の提供

民間保育所運営費補助事業	すこやか子ども課	1,338,386	1,482,438	維持
地域型保育事業	すこやか子ども課	164,204	192,491	維持
(仮称)袋井南認定こども園施設整備事業	すこやか子ども課	0	0	拡充 ◎

基本方針(3)すべての子どもの育ちを支える環境の整備

放課後児童クラブ運営事業	すこやか子ども課	125,076	142,855	拡充 ◎
放課後児童クラブ施設管理事業	すこやか子ども課	16,583	18,772	維持
児童発達支援事業	育ちの森	13,356	16,640	維持
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	7,594	7,968	維持

基本方針(4)子育てと仕事の両立の支援

男女共同参画プラン推進事業	協働まちづくり課	291	626	維持

基本方針(5)子育て世帯の不安の解消

児童扶養手当支給事業	しあわせ推進課	265,615	277,923	拡充
子ども医療費助成事業	しあわせ推進課	390,405	388,364	拡充
家庭児童相談室運営事業	しあわせ推進課	3,533	3,693	維持

基本方針(6)子どもの安全の確保

DV被害者宿泊施設借上事業	しあわせ推進課	13	48	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査における市民の重要度は高く、子育て支援に重点を置き、保育施設の増加や子育てアプリを活用した情報の発信、医療費の助成などに努めている本市の取組と一致している。 ◎公立認定こども園である「笠原こども園」や民間認可保育所、民間小規模保育施設の新設により、定員の拡大に努めてきたが、保育所申込者数の増加により、待機児童数は目標値に達しておらず、引き続き、待機児童の解消に向けた対策が必要である。 ◎放課後児童クラブは、受入対象学年の拡大に向け、施設整備を計画的に進めている。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎保育所と幼稚園のニーズ不均衡や施設の老朽化などの本市の課題に対応するため、概ね10年後を見据えた「就学前の子どもの教育・保育のあり方に関する基本方針」を定めた。 ◎幼稚園の保育時間における保護者ニーズに応えるため、公立幼稚園2園で預かり保育の時間帯を朝夕それぞれ1時間延長した。 ◎放課後児童クラブの受入対象学年の拡大に対応するため、袋井東・袋井西小学校区への施設整備に向け、用地取得や実施設計を行った。		
III. 今後の展開方向	◎民間保育施設への設置支援や(仮称)袋井南認定こども園の整備に加え、企業主導型による保育施設の設置を働きかけ、待機児童の解消を図っていく。 ◎放課後児童クラブは、市内全小学校区で小学6年生までを受け入れる施設整備を平成30年度に進めることから、担い手となる指導員の確保を支援していく。 ◎子ども医療費助成制度は、対象年齢拡大に伴い市の負担が大きくなることから、引き続き、県へ補助の拡大を働きかけていほか、保護者に対して適切な受診を呼びかけていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすやかに育つまちを目指します
取組2	未来に輝く若者の育成
取組の目的	国際社会や地域社会で活躍する、心ゆたかでたくましい若者を育てます。
現状と課題	<p>◎次代を担う子どもたちがこれからを生き抜くためには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造するための基礎的な力が求められており、幼小中一貫教育を推進し、英語教育やICT教育を充実していく必要がある。</p> <p>◎学校施設は、高度経済成長期に建築された建物が多く、老朽化している施設も多い。安全・安心な状態を維持するため、計画的な修繕と長寿命化に向けた対策が必要である。また、袋井・浅羽の両給食センターは設備が老朽化しており、学校給食を安定的に提供するためには、機器更新が必要となっている。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(小6・中3)(%)	目標値	—	83.5	85.0	86.5	90.0	90.9%
		実績値	79.5	81.2	77.3			
2	全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6・中3)(%)	目標値	—	75.0	87.5	87.5	100.0	14.3%
		実績値	10.0	100.0	12.5			
3	新体力テストで全国平均を上回る種目の割合(小5・中2)(%)	目標値	—	82.0	84.0	86.0	90.0	48.3%
		実績値	56.3	46.9	40.6			
4	教育施設大規模改修等の実施(施設数)(箇所)	目標値	—	2	2	3	3	100.0%
		実績値	1	2	2			
5	学校給食における市内産野菜の使用率(重量ベース)(%)	目標値	—	33.5	37.0	40.0	40.0	75.4%
		実績値	26.2	27.6	27.9			
		目標値	—	—				
		実績値						
								88.6%
								65.8%

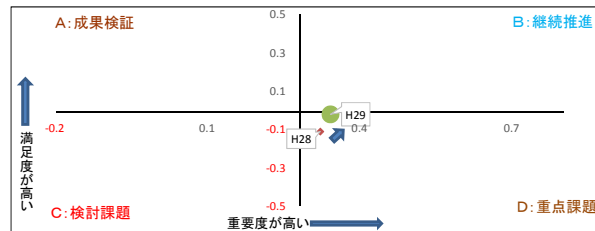
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.34	0.36			
満足度	-0.10	-0.01			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)ゆたかな心を育む教育の推進

英語力向上事業(小学校・中学校)	学校教育課	34,774	42,420	拡充	◎
グローバルコミュニケーション力向上事業	学校教育課	1,694	2,126	維持	
国際理解教育推進事業	学校教育課	14	0	縮小	

基本方針(2)確かな学力を育む教育の推進

学力向上対策事業(小学校・中学校)	学校教育課	5,673	5,761	維持	◎
幼小中一貫教育推進事業	教育企画係	276	428	維持	

基本方針(3)健やかでたくましい体を育む教育の推進

健康診断事業(小学校・中学校)	学校教育課	11,549	8,261	維持	
食育推進事業	健康づくり課	3,309	3,012	維持	
学校給食センター整備事業	おいしい給食課			拡充	

基本方針(4)子ども一人ひとりを大切にしたい支援の充実

特別支援教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	47,304	49,759	維持	
いじめ・不登校等未然防止事業(小学校・中学校)	学校教育課	10,707	6,404	拡充	
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	7,594	7,968	維持	

基本方針(5)地域とともにある学校づくりの推進

地域とともにある学校づくり推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	5,400	4,800	維持	
学校支援地域本部事業	学校教育課	946	1,470	維持	

基本方針(6)質の高い教育環境の整備

袋井北小学校校舎増築事業	教育企画課	335,562	5,703	維持	
(仮称)袋井南認定こども園施設整備事業[再掲1-1-(2)]	すこやか子ども課	0	0	拡充	
学校施設機能向上事業	教育企画課	0	57,005	拡充	◎
浅羽中学校施設整備事業	教育企画課	0	27,223	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎幼小中一貫教育の方針を定め、推進に向けた準備を進めるとともに、英語教育やICTを活用した教育を行ってきたことに対して、市民の重要度・満足度は増している。</p> <p>◎全国学力・学習状況調査の結果は、全国平均と大きな差はないものの、多くの科目で全国平均を下回る結果となったため、今回の結果を分析した上で対応が必要である。</p> <p>◎新体力テストの結果は、平成29年度は約40%と全国平均を下回る種目が多く、目標値との乖離が大きくなっており、体力向上の取組が必要である。</p>	H29の評価	C(一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎学力向上に向けて、教員を対象とした研修会や若手教員への指導助言など、授業改善に取り組んだ。また、「わが校の授業『カイゼン』宣言」を定め、課題の把握と解決に向け、PDCAによる授業改善の取組を実施した。</p> <p>◎平成32年度からの幼小中一貫教育の実施に向け、子ども自身が中学卒業後の自分像を描けるよう「幼小中一貫キャリア教育カリキュラム」の作成に着手した。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎幼児期の教育・保育から小中学校までの教育の連携を強化する幼小中一貫教育を推進し、子どもの基礎学力はもとより、英語力、ICTを活用する力の向上に取り組んでいく。</p> <p>◎体力向上では、学校全体の取組として、計画的に体力づくりに取り組む。</p> <p>◎教育施設の老朽化対策では、浅羽中学校の施設整備を進めるとともに、計画的な長寿命化対策を実施していく。</p> <p>◎学校給食を安定的に提供するため、袋井・浅羽学校給食センターにおいては老朽化している機器を計画的に更新していくほか、市内産野菜の使用率について適切な目標値を設定する。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組3	教養ゆたかな人づくり
取組の目的	人や社会に貢献する人づくりを推進するとともに、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。
現状と課題	◎生涯学習や文化・芸術の振興は、個人の成長を促すだけでなく、まちづくりの観点からも有効である。生きがいづくりや楽しく学ぶ学習活動への参加を通じて、人や社会とのつながりを深め、学んだ成果を地域など活かしていくことで、地域社会全体の活性化や発展につなげていく必要がある。 ◎次世代を担う青少年が、自ら進んで社会参加できるよう、家庭、学校、地域が連携し、社会全体で青少年の健全育成を推進する環境づくりが求められている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	徳育推進協働事業への参加者数(人)	目標値	—	800	4,000	4,000	4,000	32.9%
		実績値	885	3,733	1,316			
2	公民館の利用者数(人)	目標値	—	360,000	365,000			96.4%
		実績値	341,191	341,312	351,779			
3	月見の里学遊館(水玉プール除く)とメロープラザの利用者数(人)	目標値	—	180,000	185,000	190,000	200,000	91.2%
		実績値	170,141	155,186	168,758			
4	図書館の資料貸出点数(点)	目標値	—	560,000	570,000	575,000	592,000	91.7%
		実績値	534,149	528,412	522,564			
5	図書館の個人貸出利用者数(人)	目標値	—	131,000	135,000	140,000	150,000	98.2%
		実績値	128,728	130,201	132,514			
		目標値	—	—				
		実績値						
								95.0%
								82.1%

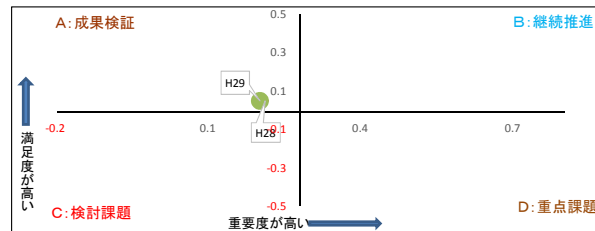
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	図書館の資料貸出点数(人口1,000人当たり)(点)「平成29年度静岡県図書館」(H29実績)	5,942	6,828	7,319	6,609	4,949	5,701
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策1取組3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.23	0.22			
満足度	0.06	0.06			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 徳育の推進

社会教育振興事業	生涯学習課	10,115	8,199	維持
青少年育成事業	生涯学習課	1,068	3,012	維持
徳育推進事業	生涯学習課	157	266	維持

基本方針(2) 生涯学習活動の充実

社会教育振興事業【再掲1-3-(1)】	生涯学習課	10,115	8,199	維持
大学を活かしたまちづくり事業	生涯学習課	3,475	3,794	維持 ◎
グローバルコミュニケーション力向上事業	生涯学習課	1,822	1,400	皆減
市民のITリテラシー向上推進事業	生涯学習課	500	500	皆減

基本方針(3) 社会全体が連携した青少年健全育成の推進

少年補導センター運営事業	生涯学習課	1,270	313	維持
青少年育成事業【再掲1-3-(1)】	生涯学習課	1,068	3,012	維持 ◎

基本方針(4) 図書館機能の充実と読書活動の推進

図書館蔵書充実事業	生涯学習課	25,363	23,515	維持
図書館運営事業	生涯学習課	15,524	23,868	維持
ブックスタート事業	生涯学習課	1,841	1,842	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎多くの市民、市民団体等と連携し、徳育推進のための講演や講座を開催したほか、指標には反映されない取組として、市内公立保育所、幼稚園、小学校、中学校、公民館において、徳育推進運動に関する目標を立て、徳育の推進を行った。 ◎図書館の資料貸出点数については、電子書籍が普及している影響により、紙図書の読書機会が減少していると推察する。ブックスタート事業など乳幼児期から本にふれあう機会を創出したことで児童向け図書の貸出は増加した。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎ラグビーワールドカップ2019に向け、市民の英語力向上を目的に、親子向けやトラベル英会話など、日常生活に根ざした英会話教室を公民館で開催した。 ◎静岡理科大学と連携し、一般市民を対象とした公開講座やIT関連授業を実施し、市民のITリテラシーの向上や社会教育の充実に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎市民が主体的に生涯学習活動や地域活動に参加できるよう、各コミュニティセンターで行われる学級活動や青少年健全育成事業に加えて、これからの地域の未来を担う若手の人材育成に取り組む。 ◎グローバルコミュニケーション事業は、各コミュニティセンターで実施している社会教育事業において取り組んでいく。市民のITリテラシー向上推進事業は、静岡理科大学との連携による大学を活かしたまちづくり事業において、引き続き取り組んでいく。		